

萬壽二年七月四日

左少史小野朝臣奉政奉

〔延喜式三十七〕凡供御乳○中乳牛七頭○頭別米大豆各日一斗二升二升

〔農家備要三〕大豆は稻田に用ひて最上の糞とす、間には其儘用ふるものあれども、此を能く煮熟して、一二夜を過ぎて用ふる時は、速に化爛して、別して效能あるべし、

大豆產地

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

河内國三種○中 黒大豆大五斗

〔毛吹草三〕河内 大豆 伊豫 豆腐菽 豊後 豆腐菽

〔雍州府志土六〕黒大豆 所々出、近江産爲勝、黒大豆之中、一種至小者、俗謂吞豆、每朝生吞之、則治痰

調胃、悉在京師米店、菜豆、惠牟豆、部牟豆、悉在大宮三條南、

〔攝陽群談十六〕阿部野大豆 同郡○東阿部野村ノ田圃ニ作り、味勝テ宜、世ニ能以求之、諸方ニ種ヲ設ク、

〔浪花の風〕總じて豆類は都てよろし、乍去平豆、江戸にて雁喰豆と唱ふるものは絶てなし、

〔百姓傳記十一〕大豆ヲ蒔事

常陸國ノ河邊大豆上々ナリ、坂東ガ總テ大豆能國ナリ、河邊大豆種ヲ諸國ヘ持來リ植ルニ、一年モ二年モ眞性ニ出來テ、味ヒヨク取實アリ、皆夏豆ナリ、

大豆雜載

〔合義解三〕凡一位以下○註 及百姓雜色人等○註 皆取戶粟以爲義食○中 大豆二斗、小豆一斗、各當粟一斗、

〔朝野群載二十七〕主計寮解 申返抄事

備前國應德二年雜米使正六位上行

年料白米仟佰漆拾伍斛